

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ゼミナールⅣ (SeminarⅣ)					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)	
2020-23年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	課題解決型 AL / 外部講師招 聘科目
	2025-0-41-061	ゼミナ ール科目	必修	2単位	4年次	通年		
2024-25年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	課題解決型 AL / 外部講師招 聘科目
	2425-0-41-006	ゼミナ ール科目	必修	2単位	4年次	通年		

① 授業のねらい・概要						
ゼミのメインテーマは『危機管理』である。『危機管理』では、医学・医療・福祉・防犯・防災・日常的なコミュニケーション・金銭や情報のリテラシーなど、事例の紹介やシミュレーションなどを通して、広く役に立つ実際的な問題を取り上げる。特に防犯・防災を軸に、ひとのいのちを守る行動について考える。地域の特色を把握し、地域の住民の安全を守るための社会のしくみ、特に防犯・防災を軸に、ひとのいのちを守る行動について考える心理学や行動経済学が基盤となる。昨年度から、防犯について力を入れている。地方公務員(市役所や県警等)を希望する学生に限らず、「自分の価値を高め、現在以上に力をつけたい!」と真摯に望む学生には、試験攻略のための個別指導も検討する。4年生は卒論作成を意識して、年間計画を立てて実行する。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
地域社会に貢献する姿勢/職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/コミュニケーション能力/情報収集・分析力						
③ 授業の進め方・指示事項						
身近なところから各地域の特性を感じ取り、社会のしくみと地域との関わりを理解する。社会情勢も踏まえ、自分や周囲の人たちの生命と安全を優先した行動を心がける。自分自身の価値を高めるにはどうすればいいか?と自問自答して最適解を求めてゆく。周囲とのコミュニケーションを大事にしたアサーティブな関係構築を目指す。思考体力をつけることと、基礎学力を盤石にすることによって、公務員試験や優良企業への就職試験にも備える。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目						
キャリア開発Ⅲを重要視している。地域の特色を把握することや、時事問題を軸とした報告レポート・プレゼンテーションも併せて行うので、可能な範囲で関連しそうな科目の履修を勧める。						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
『秘書検定3級 クイックマスター 改訂2版』実務技能検定協会編 早稲田教育出版 昨年度から秘書検定にもゼミ全体として取り組んでいる。その他、授業資料を必要に応じて配布する。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
『努力は仕組み化できる 自分も他人も「やるべきこと」が無理なく続く努力の行動経済学』山根 承子 (日経 BP) 『もしもに備える!おうち備蓄と防災のアイデア帖』 島本美由紀 (パイインターナショナル) 『ストレス解消法』田中 はじめ (総合法令出版) 『卒論・レポート Word 活用術』桑井康行 (オーム社) 『防災気象情報等で使われる 100の用語』饒村 曜 (近代消防社) 『防災クエスト 家族みんなで防災ミッションを攻略しよう!』辻 直美 (小学館) その他多数						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
無断欠席は厳禁。ゼミの『鉄の掟』である。出席管理を厳格に行うのは出席不良による失格を未然に防ぎ、評価向上につなげる危機管理である。キャリア開発など就職に関連した科目と、当大学が推奨している資格を目指す科目には、積極的に取り組むことを勧める。自分が目指したいものを極力具体的に考えて欲しい。役割分担や課題内容を明確にして、学生の自主性をなるべく尊重したい。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 卒論を書くのに必要な文章表現の型を学び、800字程度に意見を随時まとめられるようになる。 (2) 自分自身の強みをより尖らせるため、戦略的な思考を身に付けて、行動計画へと落とし込む。 (3) 地域の特色や社会情勢を把握して、卒論テーマの選択や研究調査活動のやりかたを体得する。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	文章表現の型と筆記力	事例引用し800字程度自在に書ける	事例引用し400字程度に要約できる	800字程度の意見は書ける	400字程度の要約ができる	要約等が400字に満たない
(2)	戦略的思考と行動実践	状況を的確に捉えSWOT分析できる	ある程度のSWOT分析ができる	要因や項目を言われたら挙げられる	要因や項目を言われた通りに書ける	説明されても要因や項目が書けない
(3)	決断力と研究調査手法	迅速に決断し、前倒して計画を進める	決断しても試行錯誤に時間がかかる	優柔不断だが、目標は明確である	優柔不断だが、対象は見つかる	優柔不断で、対象を把握できない

⑩ 学習到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法							
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合		30%	15%	55%			100%
(1) 文章表現の型		10%	5%	25%			40%
(2) 戦略的思考		10%	5%	15%			30%
(3) 研究調査方法		10%	5%	15%			30%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	提出物は確認・添削後適宜返却する。授業以外でも、個別の添削指導も要請があれば行う。						
⑪ 授業計画と学習課題							
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）					
1	オリエンテーション～履修選択の確認と今後の展開について	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
2	ゼミナール大喜利～明確化とコミュニケーションの練習	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
3	オンラインとリアルとの共存：ITリテラシーと心理的安全性	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
4	行動経済学の視点と実践①サンクコストと各種バイアス	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
5	行動経済学の視点と実践②プロスペクト理論と損失回避	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
6	防災について考える①～災害は忘れたころにやってくる！	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
7	防災について考える②～自分の住んでいる地域のリスク	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
8	防災に関するディスカッションとプレゼンテーション	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
9	防犯について考える①～大学生が気をつけるべきリスク	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
10	防犯について考える②～地域で起きた事件と顛末を知る	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
11	防犯に関するディスカッションとプレゼンテーション	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
12	悠久祭に向けてのパネル制作①テーマを考えて概要を決める	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
13	悠久祭に向けてのパネル制作②伝えるべき内容を整理する	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
14	悠久祭に向けてのパネル制作③仕上げとプレゼンテーション	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
15	前期の総括：夏休みのプランとガクチカ・卒論の進捗確認	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
16	後期再開：履修登録の確認と悠久祭パネルの振り返りなど	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
17	秘書検定対策①～必要とされる資質・職務知識・一般知識	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
18	秘書検定対策②～マナーと接遇：最低限注意すべきポイント	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
19	秘書検定対策③～マナーと接遇：ロールプレイで実践する	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
20	秘書検定対策④～技能：社会人に求められる基本スキル	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
21	秘書検定の振り返りと内定後の新社会人としての心構え全般	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
22	ブラッシュアップ企画①消しゴムハンコのススメ前編	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
23	ブラッシュアップ企画②消しゴムハンコのススメ後編	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
24	ブラッシュアップ企画振り返りとガクチカ・卒論の進捗確認	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					
25	時間の心理学～時間の有効活用と自分の遅れクセを洗い出す	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。 120分					

26	メンタルヘルスとストレスマネジメント～心を守るために	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。	120分
27	ガクチカバトルと卒論ヒートアップ①何を伝えるべきか？	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。	120分
28	ガクチカバトルと卒論ヒートアップ②客観的評価と主観の差	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。	120分
29	ガクチカバトルと卒論ヒートアップ③仕上げと実践に向けて	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。	120分
30	年度を通しての総括：将来についての展望と今後の夢を語る	配布資料をもとに課題に取り組み理解を深める。	120分

⑫ アクティブラーニングについて

課題の提出による学生参加型 AL を採用する。毎回テーマに即した問いかけをして、寄せられた結果について次回以降に解説と考察を行い、学修内容をフィードバックする。インプットとアウトプットのバランスを考え、課題内容をもとに各自で調べてまとめる作業を従来よりも増やす。オンライン授業でもアサーティブなやりとりを目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性